

Vol.111 PUSH!

図書館司書が選んだ
中高生向けのおすすめ本

テーマ
絵本



ライラックどおりのおひるごはん

みんなでたべたいせかいのレシピ
フェリシタ・サラ／作 石津ちひろ／訳
BL出版(Eサラ)



ライラック通り10番地の建物の前を通ると、窓からおいしそうな匂いが漂ってくる。フランスの白身魚のムニエル、南インドの赤レンズ豆のカレー、日本の親子どんぶり……。

15の国や地域の料理をレシピ付きで紹介しています。
あなたも作ってみませんか。



北極を旅する1人の男。腹がへり、食糧になる動物を探していると、ジャコウウシの群れを見つける。鉄砲に弾をこめ、群れに一步一步近づき、引き金を引いた。

ジャコウウシと男による命のやりとりが、ありありと描かれます。探検家・角幡唯介の実体験がもとになった絵本です。

ほっきよくで
うし
をうつ

角幡唯介／作 阿部海太／絵
岩崎書店 (Eアベカ)

最初の質問

長田弘／詩
いせひでこ／絵
講談社 (Eイセヒ)

いちばんしたいことは何ですか？
福島市生まれの詩人・長田弘の詩に、いせひでこの柔らかく美しい水彩画をつけた絵本。ゆっくりと考えてみたくなる問いかけが並びます。詩がよく分からないという人も、ぜひ絵と一緒に楽しんでみてください。



赤ずきん

オオカミのひみつ

ジャン・リュック・ビュケ／作
大澤千加／訳 洋洋社 (Eビュク)



オオカミがおばあさんをペロリと食べたのが午前10時。その後、おばあさんのベッドにもぐりこんだのが正午ちょうど。

さて、この2時間、オオカミは何をしていたのでしょうか？

誰もが知っているおとぎ話には、実はこんな場面があったのかも？ 思わず笑ってしまうオオカミの表情にご注目！

の

junaida／著
福音館書店 (Eジュナ)



わたしの
お気に入りのコートの中、
ポケットの中のお城の
いちばん上のながめの良い部屋の…
*
「の」でつながっていく不思議な世界の
驚きの結末は
あなたの目で確かめてみて



ふくもっちゃんのつぶやき

～懐かしの絵本編～

こんにちは、ふくもっちゃんでございます。
図書館には今回紹介した本の他にもたくさんさんの絵本があります。『そらまめくん』や『ぐりとぐら』のシリーズ、教科書にも載っている『おおきなかぶ』。『ぐりとぐら』は初めに出版されてから2023年で60年になり、多くの人に長く親しまれています。小さい頃に好きだった絵本を読み直してみるのも楽しいですよ。



令和4年12月

編集発行 福島市立図書館 YA部会

TEL 024-531-6551

ショーン・タン／著 岸本佐知子／訳

エリック

河出書房新社(726 円)

わが家にやってきた交換留学生は、勉強するのも眠るのも台所の戸棚の中で、ティーカップにも入れる。興味を持つのは街の名所よりも、地面に落ちている小っちゃなものの方。そんな彼を、ぼくらはエリックと呼んだ――。

心にぽっと灯りがともるような、優しくて少し不思議なお話です。

